

表 3.2: エジプト南部(ルクソール)の平均気温・降水量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	25	28	30	33	40	41	42	41	39	34	11	24
最低気温(°C)	5	9	11	15	21	23	24	24	21	18	2	9
平均降雨量(mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	5

出典 : Salongo Inc, Egypt, <http://www.salongo.jp/egypt/egypt.htm>

表 3.3: シナイ半島(シャルム・エル・シェイク)の平均気温・降水量

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高気温(°C)	24	26	25	29	33	37	38	38	34	31	28	23
最低気温(°C)	13	14	14	18	24	27	27	26	21	23	19	16
平均降雨量(mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出典 : Salongo Inc, Egypt, <http://www.salongo.jp/egypt/egypt.htm>

エジプトでは年間降水量が 80mm を超える地域はほとんどない。降水量が最も多い地域は沿岸地帯だが、その中でも特に多いアレキサンドリア周辺でも年間降水量は 200 mm 程度である。カイロの年間降水量は 10 mm を若干上回る程度である。ただし、同市の夏場の湿度は 77%にまで達する。しかし、夏以外は湿度は高くない。カイロ南方の地域の降雨量はきわめてわずかである。

エジプトの気象現象の一つに、春になると国中に吹く砂まじりの熱風がある。ヨーロッパではシロッコ、エジプト国内ではカムシンとして知られているこうした熱風は、通常 4月に発生するが、時には 3月や 5月に吹くこともある。

### 3.3 政治体制・動向

#### (1) 政治体制

政体 :	共和制
元首 :	ムハンマド・ホスニ・ムバラク 大統領 Mohamad Hosny Mubarak (1981年より現職。1999年9月4選、任期6年。 1928年5月4日生まれ)
議会制度 :	一院制
議会概要(定員数、発足年、任期) :	定員 454 名、任期 5 年
内閣 (主要閣僚) :	
首相	アーティフ・ムハンマド・オベイド Atef Muhammad Ebeid
外務大臣	アフメド・マーヘル Ahmed Maher

外国貿易大臣	ユーセフ・ブトロス・ガーリ Youssef Boutros Ghali
財務大臣	ムハンマド・メドハト・ハサーネイン Muhammad Medhat Abd El-Atti Hassanein
石油大臣	アミン・サーメフ・サミール・ファハミ Amin Sameh Samir Fahmi
公共企業大臣	モフタール・ハッターブ Mokhtar Abd El-Moneim Khattab
産業・科学技術開発大臣	アリー・アル・サイーディー Dr.Ali Al Saiedi
電力・エネルギー大臣	ハッサン・アフメド・ユーンエス Hassan Ahmed Younes
通信・情報技術大臣	アフメド・ナズィーフ Ahmed Muhammed Nazif
改選年：	2001年11月21日

## (2) 政治動向

ムバラク大統領は2001年11月21日、内閣改造と省庁再編を指示する大統領令を発した。内閣改造は計画相など5閣僚ポストの交替で、新たに任命された5閣僚のうち、4人が新任（そのうち1人は新設ポスト）、1人が横滑り、2人が閣外に去った。また、経済・外国貿易省が外国貿易省と改編され、閣僚ポスト名も同様に変更され、権限も「経済政策」部分を中央銀行に委譲することとなった。同様に計画・国際協力省も国際協力部門を外務省に移管し、計画省と名称を変更した。今回の内閣改造と省庁改編の目的は低迷する国内経済を活性化するためのもの。特に、経済政策を中央銀行へ移管することで、今後の金融政策を迅速かつ効果的に行うことが期待されている。

2000年10月から11月にかけては、人民議会選挙が順次実施され、同大統領の属する与党国民民主党（NDP）が議席の8割を獲得。好調な経済状況を背景に内外からの同大統領への評価は高いが、強権的な政治手法には国民の不満が高まっているとも言われる。4期目は、現行の経済改革路線の継続に加え、言論・報道の自由の拡大など民主主義の推進や国内経済格差の是正が課題である。

1999年9月には大統領選出のための国民投票が行われ、ムバラク現職大統領が4選を果たした。これで同大統領の20年を超す長期政権維持が確定した。

1997年11月の総選挙時に政府による強い弾圧を受けたイスラム原理主義勢力は過激化し、1997年9月にはカイロ市内でバス襲撃事件を、同11月にはルクソールで観光客襲撃事件を起こした。これにより観光客が減少し観光部門は大きな打撃を受けた。政府は取り締まりを強化し、治安の確保に努めている。

1990年の選挙に引き続き、1995年11月の総選挙でも与党の国民民主党が圧勝し、444議席中317議席を獲得した。114議席の無所属議員も大半が与党系とみられ、野党勢力はごく少数にとどまった。